

陳 情	受 理 番 号	37	受 理 年 月 日	令和3年11月25日	付 託 委 員 会	教育福祉
件 名	貧しい人をみんな幸せにするための陳情					

貧しい人をみんな幸せにするための陳情

資本制は必然的に窮乏化を生み出す。これはマルクス、レーニン、トロツキーの共通認識であると思う。

ならばどうするか。解決は簡単だ。心の問題だから。後は教育だけ。心を清くする教育だ。それと、助け合う制度を創る。これだ。これしかない。ものは生産できた。後は分配だけだ。イエスキリストの心を万人が持つことだ。彼は弱い人貧しい人を助けた。

沖縄は貧乏人が、ああ、この世では貧しい人生を送ったなあ、残念だなあと涙を流して舞にと多くの人が旅を終えて永遠の眠りにについている。これは悲劇だ。

ついては、次のことを提案、要請する。

- 1 相互扶助制度を創ってほしい。これはクロボトキンが相互扶助論という名作で詳しく書いている。
- 2 コロナ給付金を年収400万円以上の市民は全額市に寄付してほしい。それで貧乏人を助けられるから。
- 3 生活保護を受ける資格のある人へ手作りの手紙を書いて送ってほしい。分かりやすい文体で、血の通ったやさしい文体で、手続きを取るように促すのだ。
- 4 貧乏人をなくす部を作り、そこには貧乏人だけを採用してほしい。そして、予算をたくさん取り貧乏人に配布してほしい。財源は富裕階級の資本家や公務員から寄付を募ることだ。
- 5 年収が100万円以下の貧乏人に無料で旅行をしてもらおうなど幸せづくりをしてほしい。飛行機の空いている席にただで乗せるよう航空会社と交渉してほしい。
- 6 貧乏人が安くで住める市営住宅をたくさん作ってほしい。この20年少しも市営住宅県営住宅は増えていない。建て替えただけだ。住宅政策の貧困がある。

